

【見張り人】エゼキエル 38 章、39 章 ゴグとマゴグの戦い (2016 年 9 月 2 日公開)

しかし、見張り人が、剣の来るのを見ながら、角笛を吹き鳴らさず、そのため民が警告を受けないとき、その者は自分の咎のために打ち取られ、わたしはその血の責任を見張り人に問う。エゼキエル 33 : 6

エゼキエル 38 章、39 章 ゴグとマゴグの戦い

聖書の預言者エゼキエルは、終わりの時、ゴグ、マゴグの戦いで知られる
広範囲の連合国によって、イスラムが侵略されると伝えておりエゼキエル 38 章、39 章に記されています。



最近の新聞の見出しで、中東の闘争を見ていると、このおよそ 2600 年前に預言された侵略が、近い将来成就し得ると言う事はたやすく想像できるでしょう。

イスラエル再誕 1948 年 5 月 14 日

エゼキエル 36 章、37 章は、ユダヤ人がイスラエルに集められると預言しており



それに続いて、この大規模な侵略が起こります。

19 世紀に渡って、ユダヤ人は世界中に散らされ、1948 年 5 月 14 日まで侵略する国家は、存在しませんでした。

現在、イスラエル国家の存在は、事実であり、反キリストの登場、患難へと繋がる戦争の舞台は整ったようです。

この戦争で、イスラエルを破滅させようとする敵を神ご自身が打たれます。

エゼキエル 38 章、39 章を読むと

イスラエル国家再誕の預言だけでなく、近い将来成就されそうな、イスラエルに敵対して、連合すると神が言われた国々は未だかつてなかったように連合しています。

この連合の指揮はロシアとイランそして、これらの国は現在、ISIS との戦闘を装ってイスラエルの入口、シリアまできています。

イスラムが人口の大部分を占めるロシア (書記補足: 実際はロシア正教会が大半) は、イスラエルの大敵のイランと共に、ゴグとマゴグの連合軍を統率して、イスラエルに攻め入りエゼキエル 38 章を成就させます。イスラエルの巨大原油支配がおそらく鉤となり、ロシアはイスラエルに攻め込みますが、残念ながらロシア、イラン率いる連合軍は神がご介入され、イスラエルを守り全ロシア軍の 7 分の 6 を払拭してしまいます。

現在、シリアでの闘争にロシアとイランが軍を投入するという驚愕の事態を我々は目撃しており、歴代、敵どうしであった二つの国が軍事協定を結び共に動き始めています。

一方は、この地域に深刻な結果をもたらしており、もう片方は、イスラエルの安全を妨害する非常に危険な敵対者です。

【メッセージ: JD・ファラグ牧師 (カルバリー チャペル カネオへ)】

今回は、前回のアップデート以降 大きく発展した件を二つお話します。前回のアップデートから 2 週間が経ちました。

まずは、トルコのシリア入りに関して、次に、アメリカ合衆国のイランとロシアとの関係。

前もって言うておきますと、アメリカ合衆国大統領が中東をロシアとイランに譲るという意図的、さらに協定された動きがあることを前もって理解しておいてください。

それについては以前にもお話ししていますが、現在、トルコがイラン、ロシアと共に中東で行っている事を理解する上で、それを知っておくことが重要になります。それは、みなさんもご存知の通り、当然、エゼキエル 38 章が実に詳細に起こっているのです。

次に、理解しておくべきことは、現在、テロ攻撃、地震、その他の全ての事が背景で起こっているということ 繰り返しますが、これはただの背景に過ぎません。

次に、驚愕、かつ前代未聞のニュース。

トルコが陸路でシリア入り これもまた特に、CNN ではほとんど報道されておらず、彼らは、アメリカ合衆国の銃規制に関して 2、時間の特別番組を報道していましたから。

内容はこうです。トルコはシリアでイスラム国及び、ISIS と戦うためだと言っています。

でも、ちょっと待ってくださいよ トルコさん？

そこには、すでにイランが居て、ロシアも既に居る アメリカも、多分 何となく、そこにいるような感じで。なのに、なぜトルコがそこに行く必要があるのか？

私はその理由を教えてあげますよ。

ISIS と同様に、クルド族も トルコは、クルド族からも脅迫され戦っています。

CNN のような反イスラエル、反クリスチャンのメディアを引用することをお許し下さい。

ちなみに、彼らはますますひどくなっています。

水曜日、トルコがシリアに戦車を送った件に関して、トルコの発言を報道しました。その記事の中の、トルコのエルドアン大統領の発言を引用しますと

「トルコのシリア領土への襲撃は、ISIS と戦うためだけでなく、アンカラの向かい側、シリア北部のクルド族の戦士と戦うためでもある。」

これに対する私の疑問は、誰が誰と戦っているのか？ 誰が誰の味方なのか？ 誰が誰の側で、何故なのか？トルコはそこで何をしているのか？ なぜシリアなのか？

シリアがどれだけ小さいかわかりますか？

なぜシリアなのか言いましょう。

なぜシリアなのか？ それはイザヤ 17 章とエゼキエル 38 章のためですよ。

1994 年 8 月、私の父が亡くなる前に父は「シリアから目を離すな」と言いました。

面白いのは、父がこれを言ったのは、1993 年 11 月、イサク・ラビンとアラファートの間で、オスロ平和合意に調印された時に、それについて聞くために私が電話をした時でした。

私の父は、エジプト出身、大学では神学を専攻 当時の私よりもはるかに良く聖書を知っていました。クリスチャンではありませんでした。 知識は持っていましたが、救いに至る知識はなかった。

これは非常に耐え難いことで何年も父のために祈りました。

そして、忘れられないのが、1994 年 8 月 14 日。

どうして日にちまで覚えているかという、その日は土曜日で、その時、私と妻は、祈禱会に行っていたのです。当時、父は入院中で、私たちはお見舞い行きました。そして、帰り際に、父が行ったのです。

「息子よ。お前を愛している。お前をととても誇りに思っているよ。

神がお前を祝福してくださるように。」

これはアラブ文化で、私も当時は気付かなかったのですが、父は死に際に、祝福を祈ってくれていたのです。

旧約聖書でも、イサクが死に際にヤコブを祝福しています。家長が死ぬ前に、神の祝福を長子に受け継ぐことはとても大切で、父はそれをしていました。

わたしは父が天国にいると心から信じ、望んでいます。私の地上での父が、天国で父と共に居ると。

ともかく、父は中東に関して、実に良く把握しており、わたしはいつも会話から、父が正しい方に向かう事を期待しつつ聖書預言の質問を父にしていたのです。

それでも、私にとっては、これは謎で、1993 年 9 月にパレスチナ人がイスラエルとの平和合意に調印するという歴史的な出来事に、父の答えは、「シリアから目を離すな」

シリアは全然関係ないじゃないか？ 大ありです。大あり。

なぜか？ それは、シリアが、昔も今も、これからも、起爆剤となるからです。

具体的に言うと、イスラエルに関する聖書預言の起爆剤です。 そのため

ダマスコに対する宣告。

見よ。ダマスコは取り去られて町でなくなり、廃墟となる。(イザヤ 17 : 1)

という、イザヤ書 17 章の聖書預言がすぐにも成就されようとしていると言っていいでしょう。

そして、これが成就されれば、すぐさま次の預言へと動くでしょう。

具体的に言うと、エゼキエル 38 章、39 章 どうかよく聞いて下さい。とても重要なことです。

わたしがほぼ確信しているのは、これは後に続くかまたは、同時に起こる可能性もあるという事。

つまり？

私が思うに、エゼキエル 38 章は、イザヤ 17 章の直後に起こるか、もしくは、イザヤ 17 章と同時に起こる。 いずれにしても、その意味するところは大きい。

火曜日の The Times Of Israel 記事が面白かったので引用しますと、

国連の人道主義主任が発言。

「シリアはこの時代の最大の惨事となった。」

だからみんながシリアに集まっているのです。

シリアが起爆剤、シリアが“つなぎ”だから “くさび” と言っても良いでしょう。

BBC の報道もまた、2 つの意味で面白くて、一つの見出しが意味しているのは、

アメリカ合衆国は、全てを行う前に、ロシアにお伺いを立てなければならない。

これ気づいていましたか？

だから、前置きでお伝えしておいたのです。オバマが意図的に結託して、中東をイランとロシアに譲ったと。

特に理解しておかなければならない、と。実に意図的です。

そして現在、アメリカ合衆国の立場は？ アメリカ合衆国は何をするにも、事前にプーチンにお伺いを立てないといけない。シリアで何かをする時には特に。

そんな事を、誰が想像できたでしょう。

2 番目はさらに面白いと思ったのですが、ダーライヤーという町の状況を報じた記事で、ダーライヤーとは、ダマスカスから車で 20 分ほどの位置にある町です。

報じられた内容はこれ、ダーライヤー住民は、長年銃弾にさらされ、同時に、食べ物や飲み水、電気の不足に苦しんでいる。そこを去って行く人が言うには、「町が廃墟になった。」

廃墟ですよ。そして我々の知る真実はダマスカスまで車でほんの 20 分。

サダム・フセインの大量破壊兵器はシリアのアサドに運搬され、ダマスカスの地下に隠されている。

これが確実に物語っていませんか？ これでイザヤ 17 章の説明がつかませんか？

ダマスカスが廃墟になる。これがイランの進展に繋がります。

Washington Times によると、イランは、オバマの核協議以降も、我々が期待したようには態度を改めない。少し、記事を読んでみましょう。2 度の危険な接近。これ聞きましたか？ 先週です。

今週、ペルシャ湾で 2 度に渡る、イランのアメリカ海軍への危険な急接近は、テヘランの意図に関する新たな疑問を引き起こした。オバマ政権がイスラム諸国とその軍隊を温和にすることを期待した絶賛の核協議から一年、これもまた何度も言って申し訳ないが、オバマは意図的に中東をイランとロシアに譲ったと初めに前置きしておいた理由は、彼は初めから、イランが態度を改めるなんて、期待もしていなかった事が分かるためです。

基本的に彼は、中東の権利書をロシアとイランに譲った、およそ 2500 年前にエゼキエルがそうなると言ったそのとおりです。これは現在起こっているのではなくて、もう起こったのです。今、起こっている事でなく、それはもうすでに起こったのです。これに困惑しているというようでは、まだまだ甘すぎる。その証拠が、金曜日、FoxNews の報道です。

防衛省によると、アメリカ海軍に対する、イランの挑発は今年、50%増 我々の軍人がひざまずく映像が頭から拭い去れますか？ ひざまずいて、我々の愛するかつては地球上で最も力を持ち、祝福されたアメリカ合衆国に何が起きているのか。

屈辱に屈辱を重ねて、これだけでまだ足りないなら、さかのぼること 1 月、アメリカはイランに 4 億ドル送った 2 日後に 13 億ドルを送っていた。

Ynet News によると、アメリカは 1 月 飛行機に現金を搭載してテヘランに送り届けた 2 日後に、あまり知られていない、対外紛争解決資金から、13 億ドルをイランに支払ったと、国務省のスポークスマン Elizabeth Trudeau が発言。

「外交上の、デリケートな問題のため、アメリカは 1 月 19 日の支払いに関してはこれ以上発言できない。」

支払いは 13 回の \$99,999,999,99。

ーロシアの独裁者 (ゴグ) と、その連合軍 イラン (ペルシャ)、リビアとアルジェリア (プテ)、スーダン (クシュ)、トルコ (ゴメル)、その他のイスラム諸国 (ベテ・トガルマ) を含むー

“終わりの時”イスラエル国家に敵対して集まり、ヘブル人の預言者 エゼキエルによると、イスラエル ユダヤ人が絶体絶命に見えた最後の瞬間にアブラハム イサク ヤコブの神が超自然的に介入し救い出されます。

エゼキエル 38 章 18、19 節を見ると、

ゴグがイスラエルの地を攻めるその日ー神である主の御告げー

わたしは怒りを燃え上がらせる。わたしは、ねたみと激しい怒りの火を吹きつけて言う。その日には必ずイスラエルの地に大きな地震が起こる。(エゼキエル 38 : 18 - 19)

エゼキエルによると、この地震は地球全体を揺り動かし、そして、

地上のすべての人間もわたしの前で震え上がる。(エゼキエル 38 : 20)

敵の軍勢はこの大地震の時、恐れおおのき分別を失って

彼らは剣で同士討ちをするようになる

(エゼキエル 38 : 21)

わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、

神がこれらイスラエルの敵に罰を下される様子を、エゼキエルは説明しています。

彼(ゴグ)と彼の部隊と、彼の率いる多くの国々の民の上に、豪雨や雷や火や硫黄を降り注がせる。

(エゼキエル 38 : 22)

ハリウッド映画のシーンを彷彿させるようなイスラエルの敵の上に火が天から降り注ぎ、神の裁きが彼らを焼き尽くす

—神である主の御告げ—

わたしはマゴグと、島々に安住している者たちとに火を放つ

(エゼキエル 39 : 6)

つまり、ロシアと他の敵国の国土も、部分的に天からの火によって、超自然的に大打撃を受ける。

聖書にはこれが、どのように起こるかは書かれていません。しかし、超自然的な裁きが下ることは明記されており、イスラエルの国防軍による戦いや、イスラエル空軍のミサイルではないことが分かります。イスラエル軍が自分たちの国を守るために戦うと書かれた記述はなく、もしかしたら、イスラエルの指導者達は、この時、外交手段でロシアの指導者を説得し、引き下がらせようとするかもしれません。もしかしたら、その時 イスラエルの指導者達は、アメリカや国連、他国が外交的、もしくは軍事的にでも介入して、援護することを望むでしょう。

いずれにしても、聖書には、イスラエル軍が自国を防衛するとも、敵を打ち負かすとも、書かれておらず、そうでなく、イスラエルの神が介入し、主ご自身でイスラエルを守られると聖書にあります。全ての希望が失われたように思われる最後の瞬間に敵の軍隊に火や硫黄を降らせ、完全に破壊されるのです。

なぜ、神はイスラエルを守り、イスラエルの敵を打ち倒されるのか？

エゼキエル 38 : 22-23 で主は、はっきりと言われます。

わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼(ゴグ)と、彼の部隊と、彼の率いる多くの国々の民の上に、豪雨や雷や火や硫黄を降り注がせる。(エゼキエル 38 : 22)

わたしがわたしの大いなることを示し、

私の聖なることを示して、多くの国々の見ている前で、私を知らせるとき、彼らは、わたしが主であることを知ろう。(エゼキエル 38 : 23)

この神よる裁きの結末は非常に恐ろしく、イスラエル軍が、敵の死体を埋葬するのに、7ヶ月を要すると書かれています。(エゼキエル 39 : 12-16)

それは、恐らく 7 ヶ月以上を要するでしょうが、空の鳥や野の獣が死体を食べると、エゼキエルは記しています。

(エゼキエル 39 : 17 - 20)

ゴグとマゴグに関する預言は、罪には結果が伴う事を私たちに伝えています。

創世記 12 : 1 - 3 で、神は言いました。

「アブラハムの子孫を祝福するものは祝福を受けるが、呪うものは、呪われる。」

神は忍耐強くあられ、怒るのに遅い しかし、度を超えると神は、ユダヤ人を憎み、盗んだり、殺したり、滅ぼそうとする者に対処されます。

国々に警告しよう。

主を求めよ。お会いできる間に。近くにおられるうちに、呼び求めよ。

(イザヤ書 55 : 6)

神は実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。

それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、

永遠のいのちを持つためである。

(ヨハネ 3 : 16)

神は私たちが世界の基の置かれる前から彼にあって選び、

御前で聖く、傷のない者にしようとされました。

(エペソ人への手紙 1 : 4)

動画 【見張り人】エゼキエル 38 章、39 章 ゴグとマゴグの戦い

<https://youtu.be/XmnxKVDNyt0>

日本語訳 : 木下言波

DIVINE US : DivineUs.org

オリジナルメッセージ : Prophecy Update Videos

<https://www.youtube.com/user/farsider1975>

書記 : アメブロ hukuinn7